

専門科目【国際保健】

授業科目名	国際保健特論Ⅱ <i>Advanced Studies in Global Health II</i>		担当教員	守山 正樹、小川 里美	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	30(2)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	災害・国際協力、ヘルスプロモーションの各分野において、主要な概念、諸理論、方法論について探究し、各分野における専門性発展のための方法を検討する。				
到達目標	1. コミュニティ・アセスメントの概念、理論、方法・手法を用いて、保健看護活動の計画、実施、評価を行うことができる。 2. 健康の危機的状況を分析的にとらえる概念や理論を活用して、介入の課題を考察できる				
授業計画	1回 コミュニティ・アセスメントの概念(守山) 2回 コミュニティ・アセスメントの実際①(守山) 3回 コミュニティ・アセスメントの実際②(守山) 4回 コミュニティ・アセスメントの実際③(守山) 5回 コミュニティ・アセスメントの実際④(守山) 6回 コミュニティ・アセスメントの実際⑤(守山) 7回 自然災害時の健康と看護①(急性期・慢性期)(小川) 8回 自然災害時の健康と看護②(復興期・準備期)(小川) 9回 人為的災害時の健康と看護①(紛争下にある人々の健康)(小川) 10回 人為的災害時の健康と看護②(難民・避難民の健康)(小川) 11回 開発協力①(小川) 保健人材開発の戦略と課題 12回 開発協力②(小川) 開発途上国における保健人材育成の取り組みの実際 13回 災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献(事例を含む)を院生が選択し、抄読・クリティークを行う(1)(守山、小川) 14回 災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献(事例を含む)を院生が選択し、抄読・クリティークを行う(2)(守山、小川) 15回 災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献(事例を含む)を院生が選択し、抄読・クリティークを行う(3)(守山、小川)				
学習方法	授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進めます。プレゼンテーション資料は、前週までに提示してください。各院生は事前学習を行い、授業に参加してください。				
オフィスアワー	金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。 ma-moriyama@jrckicn.ac.jp(守山) s-ogawa@jrckicn.ac.jp(小川)				
テキスト	特に指定しない				
参考文献	国際保健特論Ⅰに準ずる。他、適宜紹介する。				
評価方法	授業への参加度(10%) プレゼンテーション(40%) レポート(50%)				